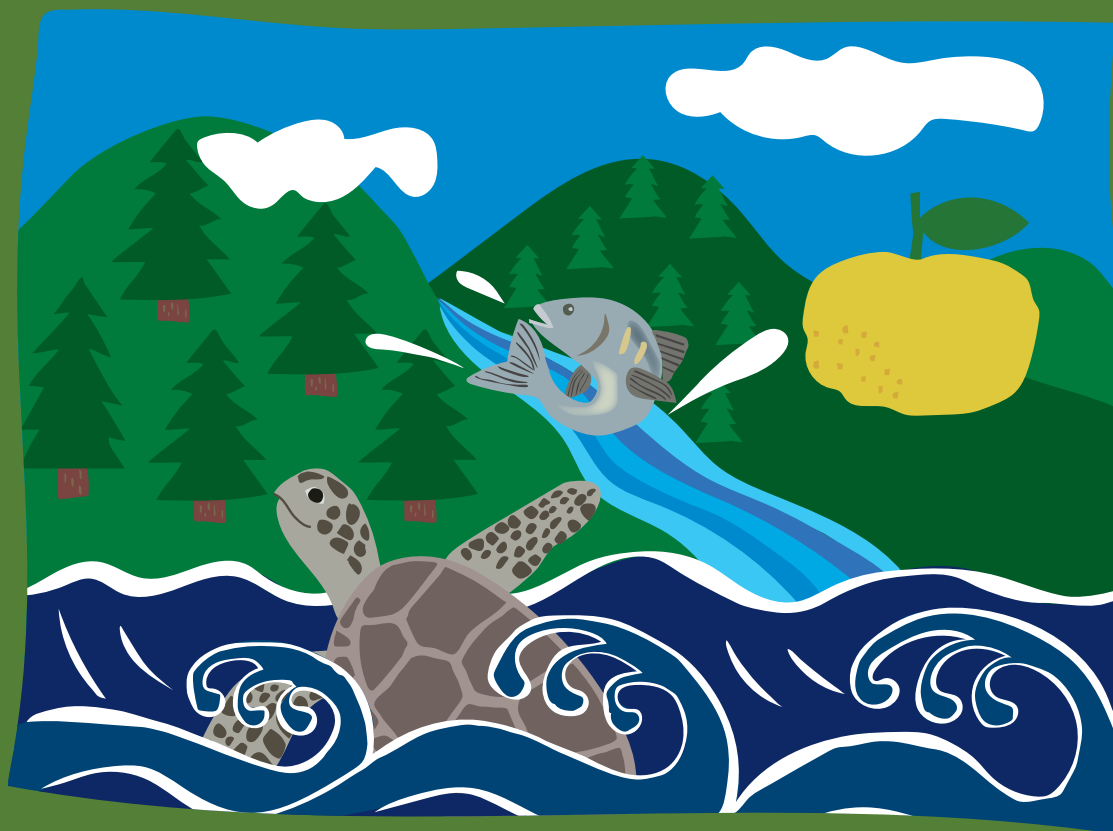


はちよん

# 84の森、柚子の里、アユ踊る清流、 そして、うみがたが語る海

～次世代につなごう！高知家の営み～



高知県環境基本計画第六次計画 ダイジェスト版

令和8年度▶▶▶▶▶令和12年度

令和8年4月

高知県

高知県の持続可能な環境の保全や創造を進めるために、  
高知県環境基本計画第六次計画を策定しました。

## 高知県の目指すべき将来の姿

### 84の森・柚子の里・アユ踊る清流、そして、ウミガメが訪れる海 ～次世代につなごう！高知家の営み～

本県の森里川海の豊かな恵みを次世代につなぐとともに、すべての生き物が県民とともに生息、生育し続けられる環境が保全され、その恩恵を受けて県民が経済活動を持続できる社会を目指します。

はちよん

#### 84の森

高知県は、森林率 84%を誇る日本一の森林県です。この豊かな森を守り、地球温暖化を防止するとともに、資源として活用し、地域の産業振興につなげます。



## 柚子の里

高知県は、温暖な気候を活かして柚子などの果樹やビニールハウスによる野菜・花きの栽培が盛んな全国有数の園芸産地です。持続可能な農業など産業振興を進め、里山の暮らしを維持していきます。

## アユ踊る清流

高知県には、四万十川、仁淀川、物部川をはじめとする1級・2級河川が100以上あり、アユ釣りや水遊びもできる身近な清流として親しまれてきました。このアユ踊るきれいな清流をこれからも守っていきます。

目指すべき将来像の実現のために、  
3つの社会づくりを進めます。

## ウミガメが訪れる海

高知県の砂浜には、毎年ウミガメが産卵のために上陸します。海岸がプラスチックごみなどで汚れていたら、卵を産まずに帰ってしまいます。これからもウミガメが訪れることができるような環境づくりを進めていきます。

### 1. 脱炭素社会 カーボンニュートラル

多様な主体が地球温暖化防止に向けた取組を進め、地球温暖化対策が進んだ社会を目指します。

### 2. 循環型社会 サーキュラーエコノミー

物がつくられ、リサイクルされたり捨てられるまでの過程で、環境への負荷の少ないように、ごみの削減や再利用、リサイクルなどを最新技術の開発や普及によってより一層進められる社会を目指します。

### 3. 自然共生社会 ネイチャーポジティブ

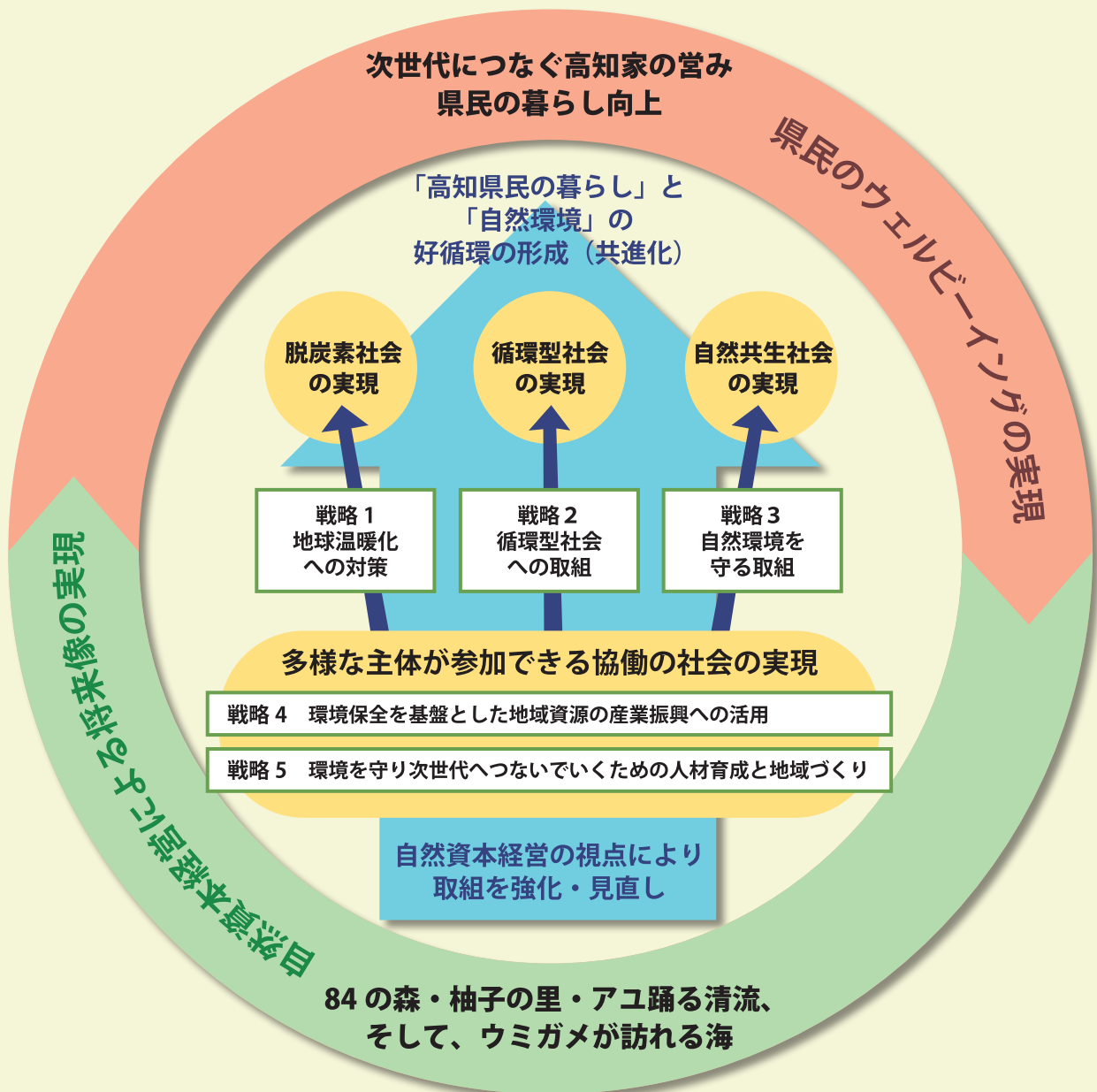
生物多様性が損なわれないよう、生物多様性に配慮した活動や利活用が定着し、人と自然との共生が図られる社会を目指します。

## 施策の展開にあたっての考え方

高知県の目指すべき将来像の実現のため、「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」を目指していきます。そのために、高知県では、「地球温暖化への対策」「循環型社会への取組」「自然環境を守る取組」の3つの基本的な戦略と「環境保全を基盤とした地域資源の産業振興への活用」「環境を守り次世代へつないでいくための人材育成と地域づくり」の2つ横断的な戦略による施策を展開しています。

## 目指すべき将来像の実現に向けた5つの戦略の位置づけ

上記の5つの戦略に基づく各施策を進めていくにあたっては、「自然資本経営」の考え方を視点に置き、取組の強化、見直しを行うとともに、より効果的かつ波及効果が高いものを重点施策として設定し、取組を進めます。これらの取組を進めることにより、県民の暮らしと自然環境の好循環の形成を図ります。



第六次計画においては「ウェルビーイング」「自然資本経営」「SDGs への貢献」を意識して各種施策を展開していきます。それぞれの概要について以下の通り記載します。

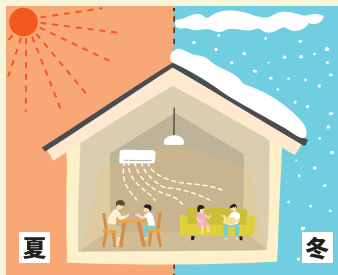
## ～高知県民の幸せ「ウェルビーイング」を意識する～

ウェルビーイングとは、一般的には、身体的、精神的、社会的な健康や満足感を含む広い意味での暮らしや生活における「幸福」のことを指します。

高知県民の自然と共に暮らし、地域の中で支え合いながら生きるという実感は、高知県民の「ウェルビーイングの源泉」であり、暮らしの本質に根ざすものです。

目指すべき将来像の達成に向けては、この考え方に立ちウェルビーイングを意識した施策を推進します。

脱炭素社会の実現に向けた取組によりもたらされるウェルビーイングのイメージ



温暖化に対応した住環境の整備により、快適な室温が維持され熱中症やストレスが軽減される。

循環型社会の実現に向けた取組によりもたらされるウェルビーイングのイメージ



3R産業の発展により新たな雇用の創出や地域産業の活性化につながる。

自然共生社会の実現に向けた取組によりもたらされるウェルビーイングのイメージ



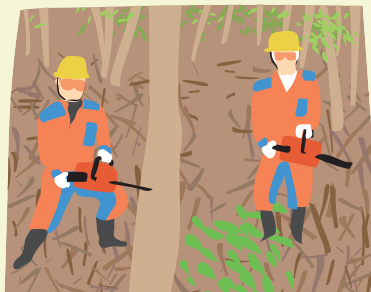
自然とのふれあいにより心身の健康が促進される。

## ～自然資本経営～

「自然資本経営」とは、森林や水、土壌、生物多様性などの自然資源や自然環境を、現に恵みを与えてくれるものとして享受するだけのものではなく、「将来世代へ引き継ぐべき資本（自然資本）」として捉え、その価値を見える化し、評価・保全・利活用・再生を一体的に行うとともに、自然資本への適切な投資のもとに地域全体を経営する（マネジメントする、守る）ことを目指す考え方です。

これまでの取組の方向性を明確化し、更に取組を進めるため、この考え方にたった計画を推進します。取組については以下に示す3つのポイントに基づき推進します。

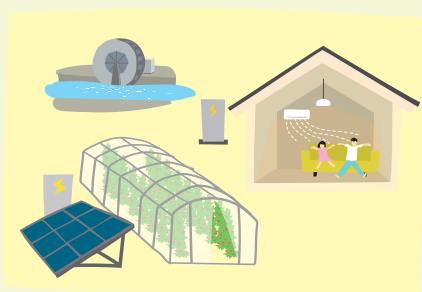
ポイント① 自然環境・生態系の維持 / 価値の「見える化」の取組例



「協働の森づくり事業」

企業と連携した森林整備により、森林の価値を伝え、地域との新たな交流が生まれる。

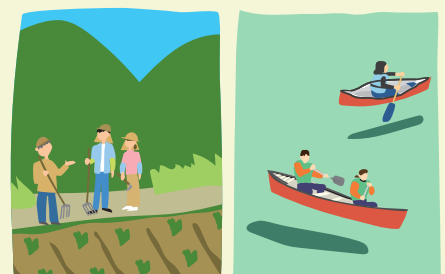
ポイント② 「環境保全と資源の活用の好循環を生む活動の強化」の取組例



「エネルギーの地消地産」

自然資源を活かした再生可能エネルギーの導入により得られた利益を地域に還元している。

ポイント③ 「資金 / 人材などの提供（受け皿の強化）」の取組例



「滞在型・体験型観光の推進」

自然資源を活かした観光の推進により地域に資金を落とすとともに、ファンづくりにもつなげていく。

# 環境基本計画第六次計画 5つの戦略

## SDGs への貢献

高知県の恵み豊かな環境を保全し、持続可能にするためには、持続可能な開発目標（SDGs）を意識した施策の展開が必要です。環境に関する取組は1つの取組が1つの結果をもたらすのではなく、自然環境や資源循環、地球温暖化対策など様々な領域に対して効果をもたらし、経済成長や教育などにも波及します。

SDGsの考え方をもって、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向け、環境分野のみならず多様な社会課題の解決を意識しながら行動できる施策を推進します。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



持続可能な開発目標 SDGs 出典：国連広報センター



## 戦略1 地球温暖化への対策

地球温暖化の原因である温室効果ガスの削減に向けて、県民、事業者、行政などの各主体が連携・協働し、2050年のカーボンニュートラルに向けた取組を進めていく必要があります。そのため、高知県地球温暖化防止県民会議を通じた県民運動の拡充や地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入、さらに、温室効果ガスの抑制等を行う「緩和策」と既に現れている地球温暖化の影響に対する「適応策」を推進していきます。

### マイバッグを使おう！



### 公共交通機関を使おう！



一人が一台ずつ自動車やバイクを使うと一人あたりの温室効果ガスの排出割合が高くなります。一度にたくさんの人を運べる公共交通機関を使い、温室効果ガスの削減につなげましょう。

### 気候変動への適応 熱中症対策として



### こまめに節電しよう



二酸化炭素の排出量削減のために近くへの買い物は歩いていく、もしくは自転車を利用しましょう。

### 地球温暖化について学ぼう

地球温暖化について学び、その対策を理解し、できることに取り組みましょう。



### 気候変動に関する動向

世界中で、干ばつや大洪水など自然災害が増えています。その原因のひとつが、地球の温度が上がる「地球温暖化」です。この気温上昇・異常気象に対して、温室効果ガスの削減や気候変動の影響への適応策が求められています。



全国一の森林率を誇る高知県では、森林吸収源対策や都市の木造化の推進による「都市の脱炭素化」など積極的に取り組んでいきます。

自分でできることを考えてみよう！





## 戦略2 循環型社会への取組

循環型社会では、資源の有効活用や3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進、各種リサイクル法に基づく、取組を通じて、一人ひとりがごみを減らす主体者であるという意識を高め、ライフスタイルの見直しを推進していきます。

また、海洋汚染の原因ともなっている海洋ごみ問題について、様々な視点からの取組を推進します。

**リデュース**  
発生抑制  
廃棄物の発生を減らす

マイバッグの利用



簡易包装の  
ものを選ぶ



**リユース**  
再使用  
繰り返し使う

詰め替えの利用



ビンの再利用



**リサイクル**  
再生利用  
原料として再利用

古紙回収



ゴミの分別



**食品ロスを削減するために** 消費できる量だけ購入することで、  
廃棄される量を減らしましょう。

買いすぎ防止

一つでえいろ。



二つの方が  
お買い得やのに〜。

残さず食べる



**高知県の  
リサイクル製品**

ペレット



水切り袋



堆肥



食べ切れる量の注文

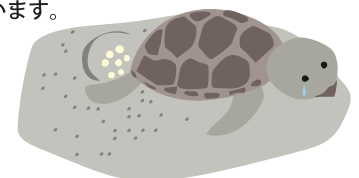
ごはんは小で。



食べ切れる量のみ注文し、  
食品ロスを減らそう！

### プラスチックの問題

自然界で分解されにくい特徴を持つプラスチックが、不法投棄やポイ捨てなどにより、自然界に流出してしまうと、河川等を通じて海にたどり着き、海洋汚染につながってしまいます。レジ袋やプラスチックごみを餌と間違えてウミガメが飲み込んでしまう例もあり、世界中で大きな問題となっています。





### 戦略3 自然環境を守る取組

県内の自然環境の保全・再生に向けて、県民全体で森林や水などの環境資源を守るため、森林の整備や木材利用の推進、流域一体となった清流の保全、希少野生動植物や野生鳥獣の保護・管理、自然公園の適正管理などに努め、「生物多様性こうち戦略」に基づいた生物多様性の保全と持続可能な利用及び自然との共生を図ります。

#### 希少野生動植物を守るために

もともとペットとして飼われていた生き物が自然に放され、野生化すると、本来の生態系が失われることがあります。また、国外から持ち込まれた種によって生態系が失われることがあります。生態系を守るために「入れない」「捨てない」「拡げない」にしましょう。



シーッ!

さ、お行き。



飼っている外来生物は  
野外に捨てない

47 都道府県、  
制覇したけどね。



野外にすでにいる  
外来生物は他の地  
域に拡げない

悪影響を及ぼすかもしれない  
外来生物を日本に入れない

#### 環境保全活動に参加しよう

地域で行われている環境保全活動に参加しましょう。自然の大切さを学び、理解することで生物多様性の守り手になりましょう。

#### 清掃活動



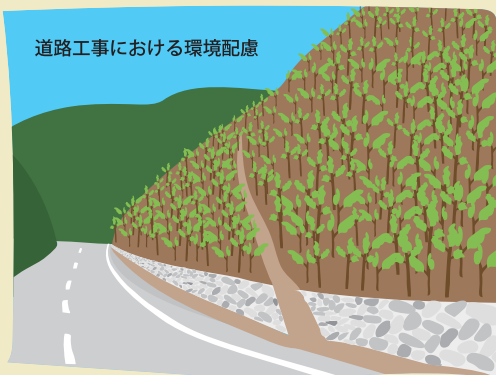
#### 森林学習



#### 川での学習



#### 環境に配慮した公共工事



道路工事における環境配慮

本県の豊かな自然は、一度失われてしまうと、回復には膨大な時間・労力・費用を要します。失われないよう、県民・事業者・行政が長期的な視点をもって保全と創造に取り組まなければなりません。

#### 森林環境税

本県は、平成 15 (2003) 年度に全国に先駆けて森林環境税を導入し、県民参加による森づくりや荒廃森林の整備など、森林環境を守るための取組を進めてきました。個人・法人県民税の均等割に 500 円 (年額) を加算し、その税収を森林環境の保全に使用しています。



できるところからはじめてみよう!



## 戦略4

### 環境保全を基盤とした地域資源の産業振興への活用

本県の誇りであり自然環境を活かしたツーリズムの推進、全国トップクラスの日照時間や年間降水量を活かした再生可能エネルギー事業など、この恵み豊かな地域資源を活かした産業振興や豊かな自然資本を活用した地域への還元のための仕組みの構築を図ります。また、「グリーン購入」を促進するための啓発等を推進します。

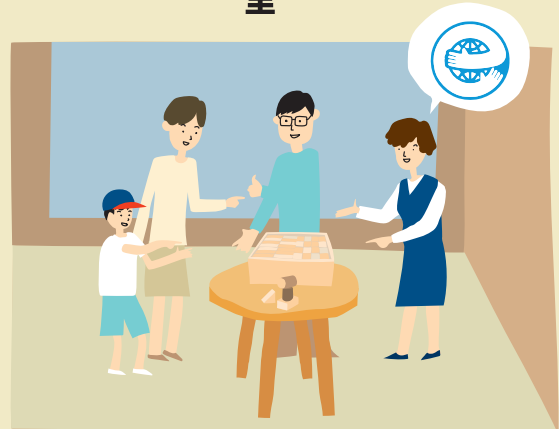
#### 森



自然公園の利用

森林率84%と豊富な森林資源を有しています。森をフィールドとしたアクティビティを体験しましょう。また、高知県産の木材を住宅や家具に利用することは、脱炭素化につながる取組です。

#### 里



県産材やエコマークのついた商品など環境にやさしい商品を積極的に購入しましょう。

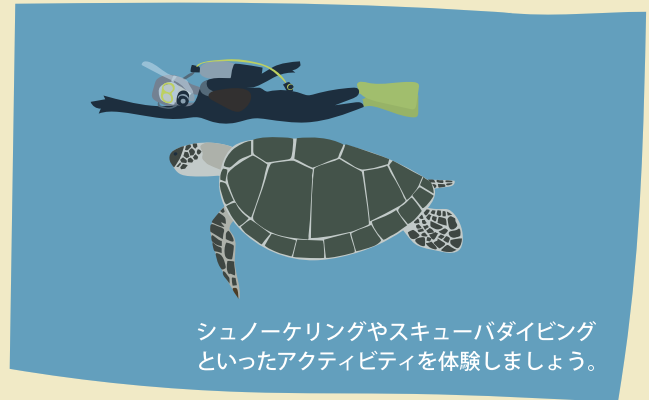
#### 川



ラフティングや川釣りといったアクティビティを体験しましょう。

川をフィールドにしたアクティビティ

#### 海



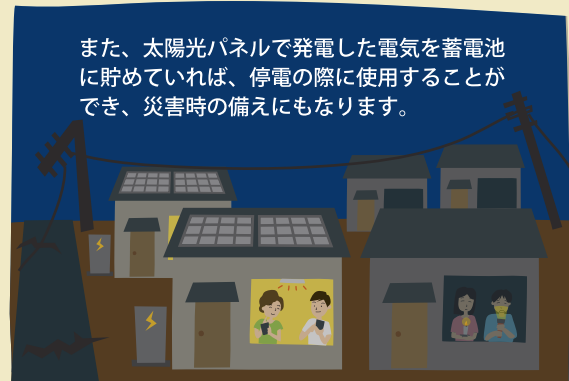
シュノーケリングやスキューバダイビングといったアクティビティを体験しましょう。

海をフィールドにしたアクティビティ

### 再生可能エネルギーの積極的な導入と地域への利益還元



住宅等に太陽光パネルや蓄電池を設置し発電した電気を使用することで、毎月の電気代が削減されるなど、再生可能エネルギーの導入は地域への利益還元にもつながります。



また、太陽光パネルで発電した電気を蓄電池に貯めていれば、停電の際に使用することができ、災害時の備えにもなります。

## 戦略5

## 環境を守り次世代へつないでいくための人材育成と地域づくり

環境教育・環境学習の拠点として、県民の環境活動への支援や各団体とのネットワークづくりを積極的に行っている環境活動支援センター「えこらぼ」を充実させ、より多くの県民に環境学習や環境活動に触れる機会を提供し参加を促すことや環境問題についての積極的な情報発信により、県民の環境活動を活発化するための基盤づくりに取り組みます。

## 人材育成



環境教育の担い手となる教職員や環境保全活動に携わる方々に対する研修会などに参加し、学び、環境保全に向けて行動しましょう。

## 高知県地球温暖化防止推進員とは

県民の皆さんに地球温暖化の現状やその対策に関する正しい知識を広めるとともに、身近なところから温暖化防止活動に取り組めるようにアドバイスや活動のお手伝いをする方々です。出前授業やセミナーの講師をしたり、イベントへの出展など幅広く活動しています。



## 生物多様性こうち戦略推進リーダーとは

生物多様性の保全や普及、担い手育成、各主体間の連携促進や地域資源の発掘・活用に関する先導的な人材のことで、高知県では「生物多様性こうち戦略推進リーダー」の登録制度を設けています。



## 地域づくり

## 環境学習に参加しよう



地域で行われる環境学習会や観察会に参加し、身の周りの環境について学びましょう。

## 清掃活動に参加しよう



地域で行われる美化活動に参加しましょう。



地域で行われる環境保全に関する活動に参加することで、自然の大切さを学び、理解し、地域の環境を守る人材になりましょう。

県内のいろんな活動に参加してみよう！



## 地域循環共生圏を推進します

水は森から川を通じて海へ流れ、その流れの過程で里につながっており、森里川海はそれぞれがお互いに関わり合いながら維持されています。

また、森里川海の生物多様性がもたらす生態系サービスは、農産物やきれいな水、空気など、さまざまな形で私たちに恵みをもたらしています。

### 森里川海の保全による地球温暖化対策への貢献

植物は、二酸化炭素と水から光合成を行い、生長します。森林も、二酸化炭素を吸収し、酸素を放出しており、適切な森林管理は地球温暖化対策になります。

間伐した木材は木質バイオマスの利用によって石油や石炭といった化石燃料の代替となり、二酸化炭素の排出削減につながります。

海の生き物、藻場の海藻類も炭素を吸収しており、ブルーカーボンと呼ばれ注目されています。

### 森里川海のつながりと産業振興における相乗効果

木材を利用して木質バイオマス発電を行い、施設栽培を行うハウスに熱と二酸化炭素を供給することで、森（木材）と里（農業）がつながります。地域資源を活用することで、地域内での経済循環の効果も期待できます。

### 森里川海のつながりを持った取組の情報収集と支援

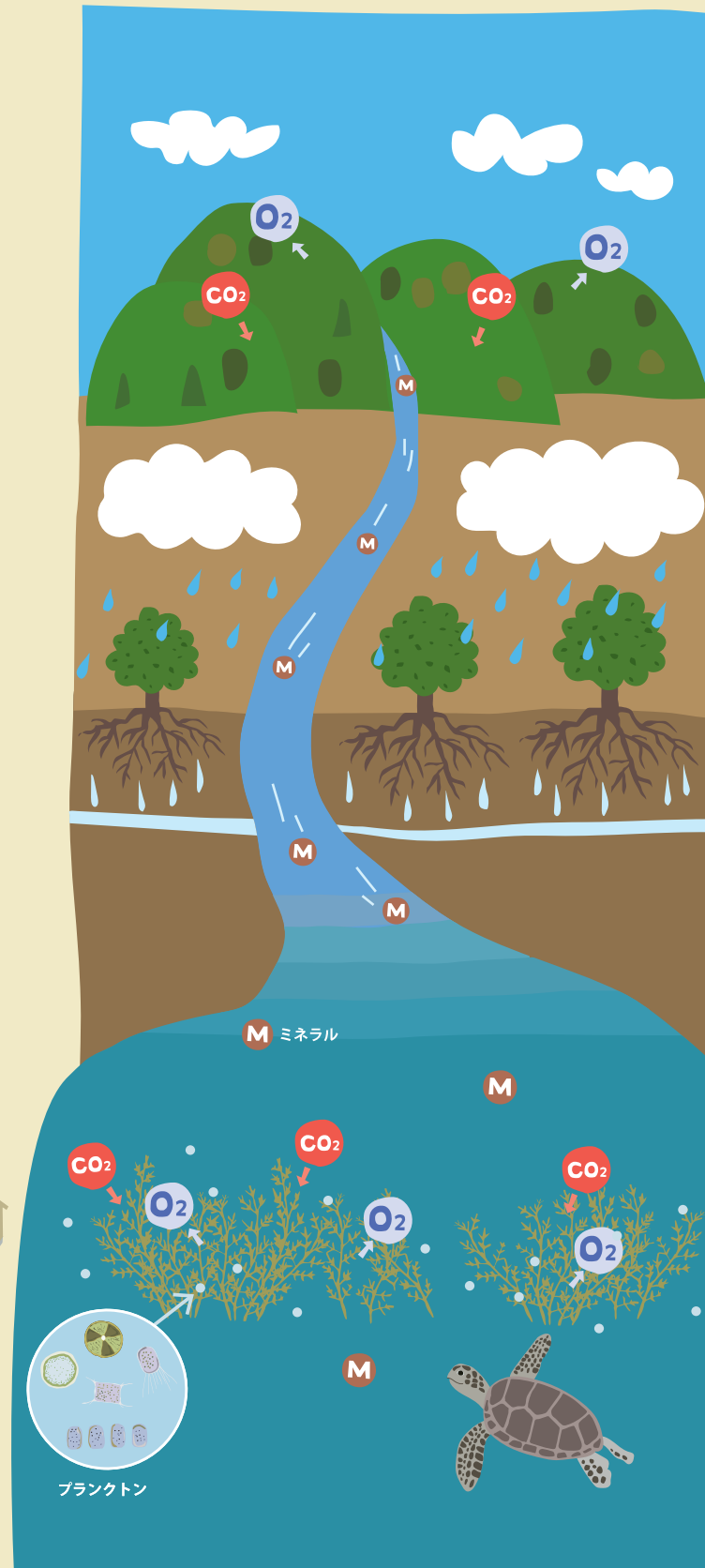
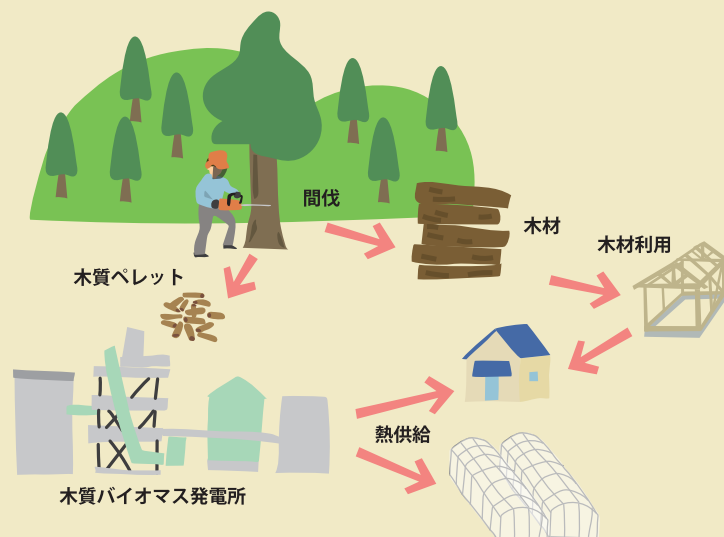
県内には森里川海をフィールドにして活動を行っている方々があります。

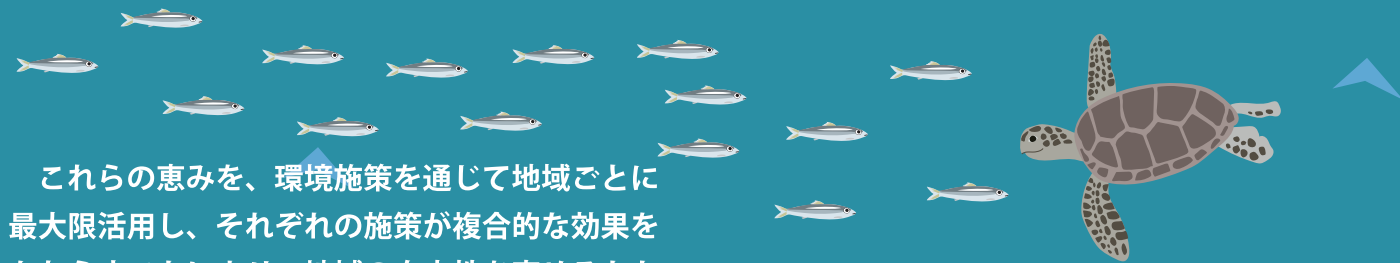
そうした活動についての情報や取組を結び付け、包括的な課題解決を図るための森里川海のつながりのマッチング支援を行うことで、地域循環共生圏の創造を促進していきます。

### 保全活動における森里川海のつながり

プラスチックごみ対策は、海岸に漂着したごみだけではなく、河川から流れ込むごみの対策も考えることが必要です。

森は、雨水を貯え、土砂流出を防ぎ、また、水質をきれいにして、河川へと流れていきます。





これらの恵みを、環境施策を通じて地域ごとに最大限活用し、それぞれの施策が複合的な効果をもたらすことにより、地域の自立性を高めるとともに、足りない点は近隣地域と補完し支え合おうとするのが「地域循環共生圏」の考え方です。



5つの戦略を進めるにあたり、森里川海間のつながり、また、森里川海がもたらす複合的な効果に視点をあてて整理し、「森里川海つながり」を意識した政策の展開につなげていきます。

### 地域間のつながりによる資金還流・理解促進

環境保全のためには、自治体の枠組みを越えた地域間連携の取組が不可欠です。保全活動や観光振興における県境を越えた自治体連携や、域外へのクレジット販売等を通じた地域間のつながり創出による資金還流・理解促進を続けていきます。

#### 【トピック】カーボンオフセット取引

県内の森林や海藻による温室効果ガスの吸収源などを「クレジット」として認証し、取引することで、保全活動資金を得ることができ、取引時にその活動を紹介することで認知にもつながります。こうした「クレジット化」は有効な取組です。

#### 四国4県で連携した取組



#### ～循環共生型社会とは～

私たちの生活は自然に大きな負担をかけています。そうした中で、森や里、川、海などがつながる「循環」を推進し、自然や地域間で「共生していく」ことが大切です。自然の力を守りながら社会や経済をより成長させていくことを目指します。

また、食べ物やエネルギー、資源を外国に頼りすぎないようにすれば、地球規模の気候変動や、動物や植物の命も守ることもつながります。これが国全体で目指す「循環共生型社会」の考え方です。高知県の森・里・川・海をつなげた地域の仕組みも、「循環共生型社会」の構築につながります。

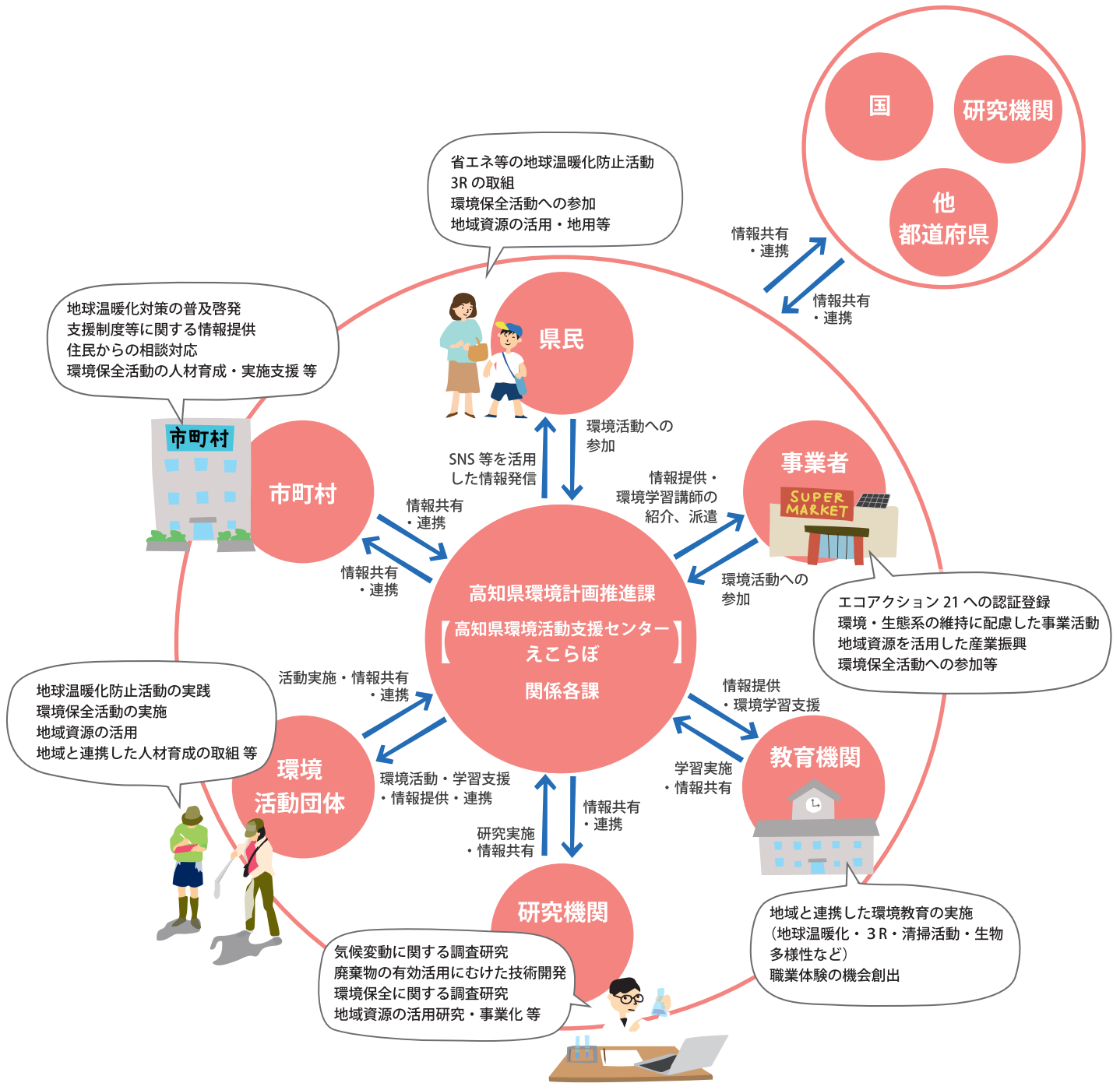
#### 「循環共生型社会」の実現にも寄与



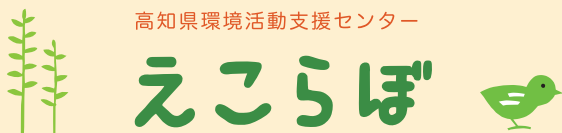
#### 高知県における地域循環共生圏の実現

## 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、県民、事業者、教育機関、研究機関、NPO等の民間団体、市町村、県などの各主体がそれぞれの役割を果たしながら、連携、協力して目標に向かって着実に取り組んでいきます。



高知県環境活動支援センター



管理運営団体 特定非営利活動法人 環境の杜こうち

所在地 〒780-0935 高知市旭町三丁目 115 番地  
こうち男女共同参画センター 3F

TEL : 088-802-7765 FAX : 088-802-2205

Mail : center@ecolabo-kochi.jp URL : http://ecolabo-kochi.jp/



高知県環境活動支援センター「えこらぼ」をご活用ください！

県民の環境活動や環境学習の推進拠点として、環境情報の発信や環境学習講師の派遣、環境イベントの開催、生物多様性の保全の普及活動などの事業を行っています。環境のことについて知りたい人、環境活動をしている人やグループ、これからやってみたく思っている人に役立つ情報や道具がいろいろあります。ぜひご活用下さい。

# 自分がどのくらい取り組んでいるがチェックしよう！

## 取組チェックシート



### 戦略1 の取組

- マイバックを使っている。
- 気候変動への適応として熱中症対策などを行っている。
- 公共交通機関や自転車を利用している。
- 地球温暖化について学んでいる。

### 戦略2 の取組

- 廃棄物を減らす努力をしている。
- 再利用をして繰り返し使っている。
- ゴミの分別などリサイクルをしている。
- 高知県のリサイクル製品を利用している。
- 食品ロス削減（買いすぎ防止・残さず食べる）に取り組んでいる。

### 戦略3 の取組

- 希少野生動植物を守るように日頃意識している。
- 環境保全活動に参加している。
- 清掃活動に参加している。
- 森林学習に参加している。
- 川での学習に参加している。

### 戦略4 の取組

- 自然公園を利用することがある。
- 高知県産のものを買っている。
- 県産木材で作られたものを利用している。
- 川や海をフィールドにしたアクティビティが好きで体験したことがある。

### 戦略5 の取組

- 環境学習や研修会（座学）に参加している。
- 地域で行われる環境保全活動や観察会などに参加している。
- 高知県地球温暖化防止推進員または生物多様性こうち戦略リーダーである。

このほかに環境保全について取り組んでいることやアイデアがあればメモしよう！



問合せ：高知県林業振興・環境部環境計画推進課  
〒780-0850 高知市丸ノ内 1-7-52  
TEL：088-821-4538  
FAX：088-821-4530  
Mail：030901@ken.pref.kochi.lg.jp  
URL：https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030901/

